

3
がつ

くしましりつとしょかん



新刊情報



一般の本



【あととおいしいご飯があれば】

終 サナカ／著

深夜にこっそり口にした大人たちの秘密の夜食、風変わりな友達がわけてくれたお出汁…。作って、食べて、心が軽くなる。「日常のレシピ」から紡がれた、おいしさ満点の物語。全13編をレシピとともに収録。



【嵐をこえて会いに行く】
彩瀬 まる／著

古い友人。遠くの恋人。業界を去った恩人。すれ違う家族。途切れかけたつながりを、どうしたら取り戻せるのか。大切な誰かの存在に気づかせてくれる5つの物語を収録。『Webジェイ・ノベル』連載を改題、加筆修正し書籍化。



【しらゆきの果て】
澤田 瞳子／著

六十路を越した老境の絵師・喜平治(宮川一笑)は、肉筆美人画の名手・菱川師宣の曾孫である伊平の面倒を見ることになるが…。美に魅了された人々の営みを描いた歴史小説集。『小説野性時代』掲載を単行本化。



【猫の刻参り】
宮部 みゆき／著

江戸は三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。数奇な身の上話を聞き捨て、一話ごとに墨絵にしている。一方、兄・伊一郎の縁談を巡って、三島屋は大騒動に巻き込まれてしまう…。『週刊新潮』連載を単行本化。



【フリーランス農家という働き方】

小葉松 真里／著

年に40回は飛行機で飛びまわり、農場で汗を流す。魅力的な農家の情報を発信し、各地の農家をヨコにつなげる。農業のサポーターを自称する著者が、フリーランス農家という新しい働き方を紹介。



【そのせき、ぜんそくかもしれません】

宮崎 雅樹／著

つらい咳の原因は「ぜんそく」かもしれません。呼吸器専門医が、咳が出ないためにはどうしたらいいのか、どんな生活習慣をしたらいいのか、咳をコントロールするために必要な知識を紹介する。ぜんそく症状チェック付き。



【カラダを温めて冷えをとる! 温活365日】

石原 新菜／著

肩こりや頭痛、便秘、生理不順、生理痛。病院に行くほどでもないけれど、何かしらいつも調子が悪い。これは、すべて「冷え」が原因。冷えを改善して体温を上げる方法を季節ごとに365日分紹介する。



【警察官のこのこ日記】
安沼 保夫／著

「教練はつらいよ」「パンティ―泥棒、侵入」「刑事人生最大の事件」「上司ガチャの悲劇」…。20年に及ぶ警察官生活で体験した、警察小説が描かない警察官の実情と悲哀をつづる。



【人生は 損だよ 楽しまなきゃ】

弘兼 憲史／著

箱根駅伝の楽しみ方、ぶらり途中下車の旅、女性との距離感、手料理、節約術…。漫画家・弘兼憲史が、シニアライフをエンジョイするための実践的なコツを紹介する。



【風待荘へようこそ】
近藤 史恵／著

家族を失った眞夏は、京都の小さなゲストハウス「風待荘」で、しばらくオーナーの仕事を手伝うことになった。泣きたい毎日を変えるきっかけをくれたのは、料理だった…。『小説野性時代』連載を加筆修正。



【戦国千手読み】
堺屋 太一／著

天下布武へと邁進する織田信長に見いだされた日海(本因坊算砂)は、囲碁を通して、信長にさまざまな献策を行なっていく。本能寺の変の前夜、日海は信長の御前で囲碁の対局をするが…。『小説歴史街道』連載に加筆・修正。



【老人初心者の青春】
阿川 佐和子／著

古稀を迎えても好奇心は衰え知らず。若いうちが花? いえいえ、我が青春は、今なり! アガワさんの人気エッセイ、シリーズ第4弾。『婦人公論』連載から42編を選んで単行本化。